

Care and Maintenance

INKJET PRINTER
TX330-1800

お手入れのお願い

本書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

目次

はじめに	3
安全にお使いいただくために	4
シンボルマーク表示について	4

メンテナンス

1. メンテナンスに関するご注意	6
2. メンテナンスの方法	7
メンテナンス項目とタイミング	7
インクのメンテナンス	8
キャップゴムの清掃	8
キャリッジ底面の清掃	9
ワイパーの清掃	10
NCUの清掃	12
DAS（自動補正機能）センサーの清掃	13
インク受けスぺーサーの清掃	14
インクスロープの清掃	15
インク排出経路の洗浄	15
メディアセンサーの清掃	16
メディア押さえ、布押さえの清掃	17
ジャムセンサー検出板の清掃	18
プラテン、プラテンワイヤーの清掃	18
ピンチローラー、グリットローラーの清掃	19
引っ張りローラーの清掃	20
カバー（外装）の清掃	21
長期間使用しないときは	22
3. 消耗品の交換	24
消耗品を交換するタイミング	24
ワイパーの交換	25
ワイパークリーナーの交換	26
キャップの交換	28
ステーション周辺の吸収材の交換	29
排気ファンフィルターの交換	32
吹き付けファンフィルターの交換	32
ピンチローラーの交換	33
メディア押さえ、布押さえの交換	35
インク供給ユニットのインク吸収材の交換	39
廃インクタンクの交換	40

はじめに

この度はインクジェットプリンター Tx330-1800をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

安全に正しくお使いいただくために、お手入れのお願い（以後、本書と称します）をよくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。

本書で使用しているイラストは、機能や手順、操作の説明を目的としており、本機と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

© 2025 株式会社ミマキエンジニアリング

● 免責事項

- Tx330-1800（以後、本機と称します）の故障有無に関わらず、本機をお使いいただいたことによって生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機により作成された製作物に対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社推奨品以外の装置などを使用すると、火災、または本機の破損事故のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社純正インク、メンテナンス液をご使用ください。それ以外を使用すると、プリント品質の低下、本機の故障のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- インクパックのインクを詰め替えないでください。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。

安全にお使いいただくために

シンボルマーク表示について

本書では、シンボルマーク表示により操作上の注意内容を説明しています。各マークの持つ意味を十分理解して、本機を安全に正しくお使いください。

内 容		
 警告	警告	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡、または重傷のおそれがある内容を示しています。
 注意	注意	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷、または中程度の負傷のおそれがある内容を示しています。
 注記	注記	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。
 一般警告	一般警告	注意しなければならない事項を示しています。具体的な警告内容は、マークの中に描かれています。
 一般強制指示	一般強制指示	実行しなければならない事項を示しています。具体的な強制指示内容は、マークの中に描かれています。
 一般禁止	一般禁止	してはいけない事項を示しています。具体的な禁止内容は、マークの中に描かれています。
 重要	重要	本機をお使いいただく上で、知っておいていただきたい事項を示しています。
 ヒント	ヒント	知っておくと便利な事項を示しています。
 参照情報	参照情報	関連する内容の参照ページを示しています。

メンテナンス

本機の精度を保ちながら末永くお使いいただけるように、使用頻度に応じて定期的にお手入れをしてください。
メンテナンスに関する注意事項をよくお読みになってから、お手入れをしてください。

1. メンテナンスに関するご注意



- 定期的に交換しなければならない部品がありますので、保守契約をしていただくことをお勧めします。また品質不良や事故を未然に防ぐために、定期的にメンテナンスしたり、消耗品を交換したりしてください。

⚠ 警告



- 定期的に清掃してください。本機を長年使用していると、電気部品にゴミやホコリがたまってしまう。漏電による本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- エアブローなどエア吹き付けによる清掃はしないでください。飛散したゴミやホコリが電気部品に侵入して、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。もしくは、掃除機などで吸い取ってください。



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

⚠ 注意



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



注記



- プリントヘッドのノズル面には、絶対に触れないでください。また、水やアルコールを付着させないでください。本機の故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- ヘッドの周辺やキャリッジの周辺を清掃するときは、綿棒を使わないでください。綿棒の繊維がヘッドノズル面に付着すると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- カバーにインクやメンテナンス液を付着させないでください。カバーの表面が変質したり、変形したりする原因になります。
- ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。部品が変質したり、変形したりする原因になります。
- アセトン、IPAなどの有機溶剤は使用しないでください。本機が故障する原因になります。
- キャリッジを手動で移動しないでください。キャリッジを移動したいときは、メニューからキャリッジアウトを実行してください。

2. メンテナンスの方法

メンテナンス項目とタイミング

タイミング	項目
1日に1度、作業が終わったとき	ワイパー周辺を清掃してください。☞「ワイパーの清掃」(P. 10)
3日に1度、作業を始めるとき	インクを振ってください。☞「インクのメンテナンス」(P. 8)
3日に一度、作業が終わったとき	本機左下の廃インクタンクに溜まったインク類を廃棄してください。
1週間の作業が終わったとき	キャップゴムを清掃してください。☞「キャップゴムの清掃」(P. 8)
	キャリッジの底面を清掃してください。☞「キャリッジ底面の清掃」(P. 9)
	廃インクタンクの廃インク量を確認してください。☞「メッセージ“廃インクタンク確認”が表示されたら」(P. 40)
	インク排出の経路を清掃してください。☞「インク排出経路の洗浄」(P. 15)
2週間の作業が終わったとき	吹き付けファンフィルターを清掃してください。
メディア交換時	インク受けスパーサーを清掃してください。☞「インク受けスパーサーの清掃」(P. 14)
	引っ張りローラーを清掃してください。☞「引っ張りローラーの清掃」(P. 20)
	インクスロープを清掃してください。☞「インクスロープの清掃」(P. 15)
1か月に1度	NCUを清掃してください。☞「NCUの清掃」(P. 12)
	DASセンサーを清掃してください。☞「DAS(自動補正機能)センサーの清掃」(P. 13)
	メディアセンサーを清掃してください。☞「メディアセンサーの清掃」(P. 16)
	メディア押さえ、布押さを清掃してください。☞「メディア押さえ、布押さえの清掃」(P. 17)
	ジャムセンサー検出板を清掃してください。☞「ジャムセンサー検出板の清掃」(P. 18)
	プラテンを清掃してください。☞「プラテン、プラテンワイヤーの清掃」(P. 18)
	ピンチローラー、グリットローラーを清掃してください。☞「ピンチローラー、グリットローラーの清掃」(P. 19)
	カバー(外装)を清掃してください。☞「カバー(外装)の清掃」(P. 21)
1週間以上使わないとき	キャップの清掃、インク排出経路の洗浄をしてください。清掃が終了したあとは、主電源は切らずに保管してください。☞「長期間使用しないときは」(P. 22)

メンテナンスに必要な道具

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。消耗品は、弊社ウェブサイト(<https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html>)にてご覧になれます。



- ・ 消耗品を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。

インクのメンテナンス

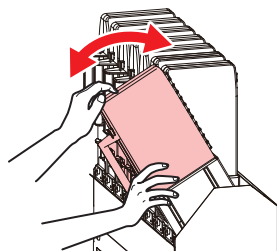
インクに含まれている成分が沈降すると、インクの濃度が不均等になってしまうおそれがあります。安定してプリントしていただくために、定期的にインクを振っていただくことをお勧めします。

3日に1 回程度。

- 重要!** ・ インク供給ユニットからインクエコケースを抜かないように振ってください。インクエコケースが外れるとインクが漏れるおそれがあります。

1 インクエコケースを10回程度ゆっくりと振る。

- ・ インクエコケースの上部を押さえながら手前に前後します。



- ・ 必ずインクエコケースの上部を押さえながら手前に前後してください。上部を押さえないとインクエコケースが抜けて、インクが漏れるおそれがあります。

キャップゴムの清掃

キャップは、プリントヘッドのノズル面を乾燥から守る役割があります。汚れたまま使い続けると、インクの吸引が正常にできなくなって、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）のおそれがあります。



- ・ クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

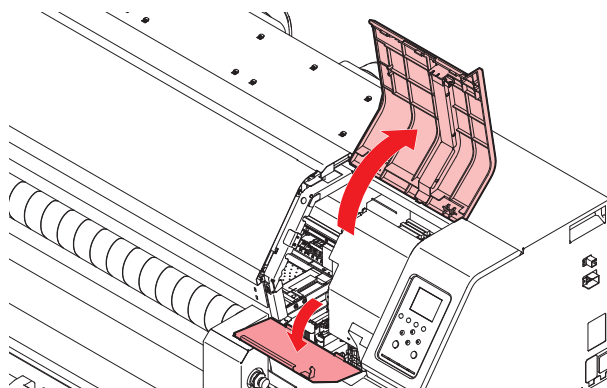
1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。

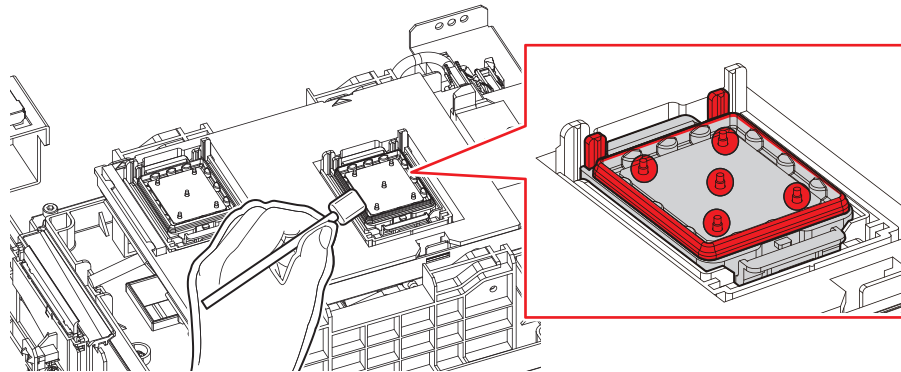
- ・ キャリッジがプラテン上に移動します。

3 右側のメンテナンスカバーを開く。



4 キャップゴムを清掃する。

- ・ メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。
- ・ イラストの赤色（キャップゴムの内側/外側全周とツメ、メッシュ固定部）の部分清掃します。



5 メンテナンスカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

キャリッジ底面の清掃

キャリッジ底面は、ワイパーで拭き取ったインクが付着しています。汚れたまま使い続けると、固まったインクや付着したホコリがメディアをこすり付けて、成果物を汚してしまう原因になります。

また、プリントヘッドは非常に微細なメカニズムを採用しております。お手入れの際には十分な注意が必要です。



- ・ クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

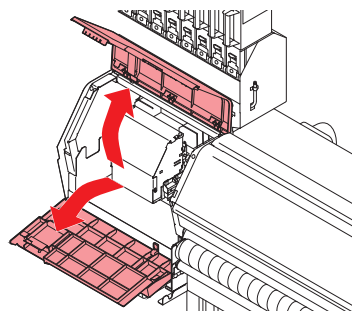
1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ キャリッジがメンテナンススペースに移動します。

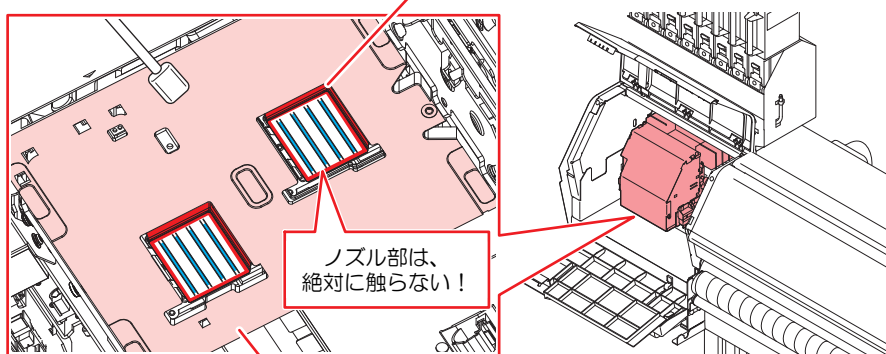
3 左側のメンテナンスカバーを開く。



4 プリントヘッド周辺を清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。

プリントヘッドの側面とノズルプレート全周は、クリーンスティックで清掃します。



クリーンスティック、または柔らかい布で清掃します。



- プリントヘッドのノズル部（イラストの青色部分）には、絶対に触れないでください。

5 清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

ワイパーの清掃

ワイパーは、プリントヘッドのノズル面に付着したインクを拭き取っています。ワイパーが汚れたまま使い続けると、固まったインクやホコリの付着したワイパーがノズル面をこすり付け、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

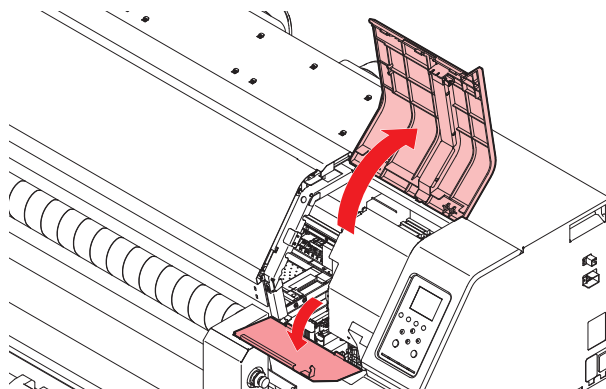
1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。

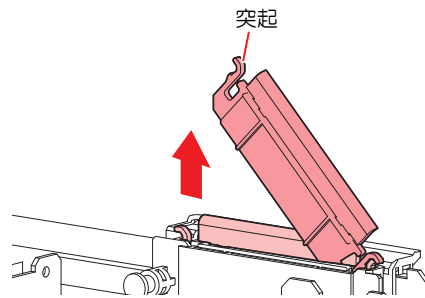
- キャリッジがプラテン上に移動します。

3 右側のメンテナンスカバーを開く。



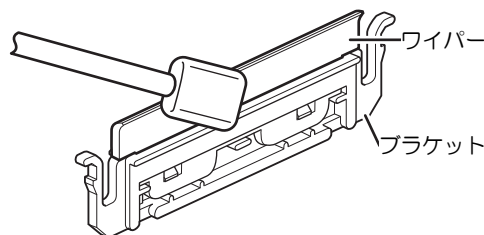
4 ワイパーを外す。

- ・ ワイパーブラケット後方の突起を持って引き抜きます。



5 ワイパーとブラケットを清掃する。

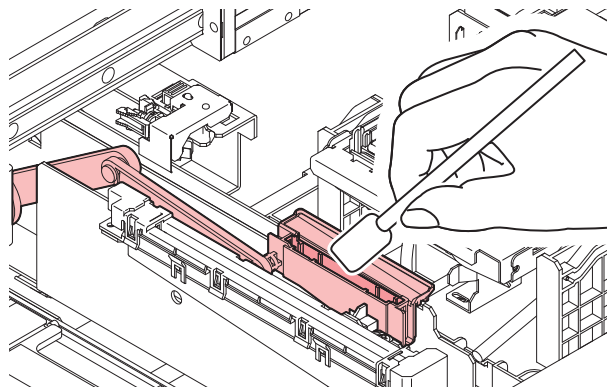
- ・ メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



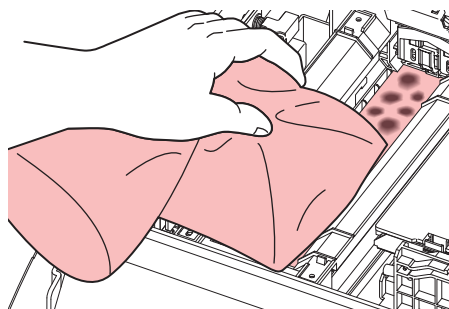
- ・ ワイパーの汚れや反りが激しいときは、新しいワイパーに交換してください。ワイパーの交換

6 ワイパースライダーを清掃する。

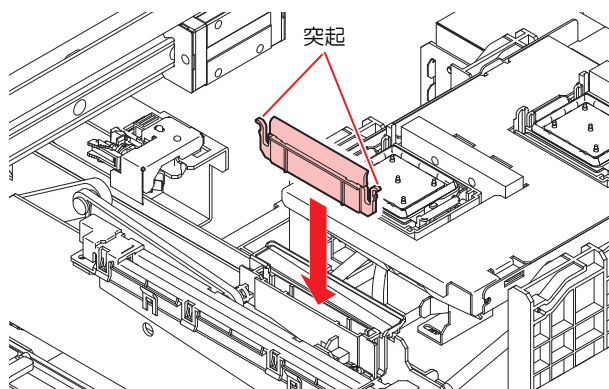
- ・ メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



- ・ 吸収剤ケースの中に、大量のインクが入っている場合、吸水ペーパー等で吸い取ってください。



7 ワイパーを元の位置にセットする。



8 清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

NCUの清掃

NCUは、プリントヘッドのノズルから吐出インク滴をセンサーで監視しています。汚れたまま使い続けると、ノズルチェック機能が正常に動作しないおそれがあります。



- ・ クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

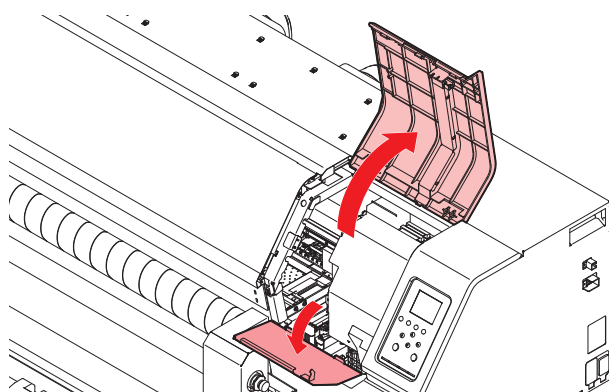
1 ローカルモード画面から[MENU]＞[メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ]＞[キャリッジアウト]＞[プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。

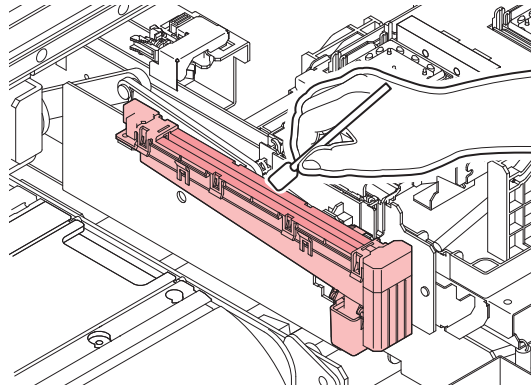
- ・ キャリッジがプラテン上に移動します。

3 右側のメンテナンスカバーを開く。

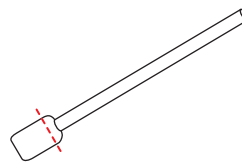


4 NCUを清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



- クリーンスティックは、イラストの位置まで挿し込んでください。

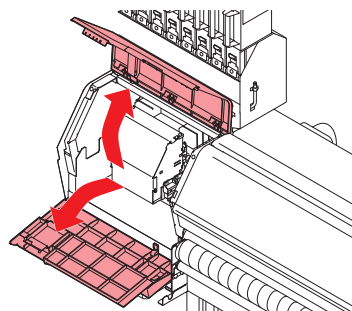


5 清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

DAS（自動補正機能）センサーの清掃

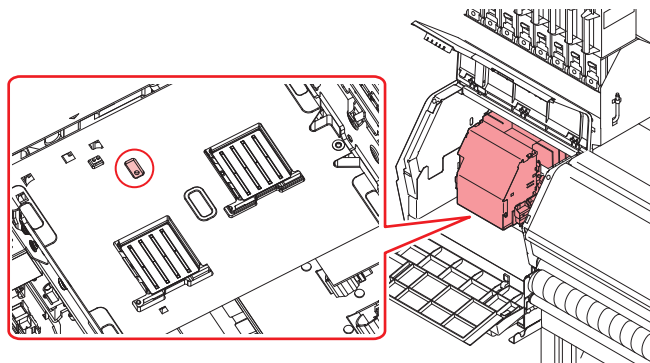
キャリッジ底面に、DASセンサーが付いています。センサーにホコリやゴミがたまると、DAS（メディア設定メニュー）が実行できないおそれがあります。

- ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - キャリッジがメンテナンススペースに移動します。
- 左側のメンテナンスカバーを開く。



4 DASセンサーを清掃する。

- ・ 綿棒や柔らかい布で拭き取ってください。

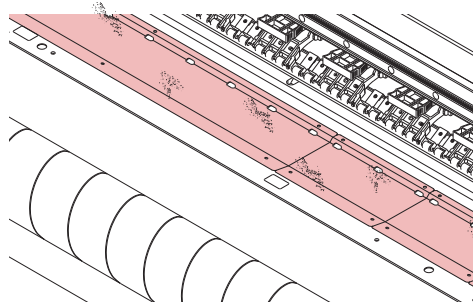


- ・ 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

5 清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

インク受けスパーサーの清掃

メディア交換時などインク受けスパーサーに付着したインクなどの汚れを洗浄したいとき、取り外して、洗浄します。



- ・ 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- ・ 本機にインク受けスパーサーを取り付けた状態で、直接水を流さないでください。

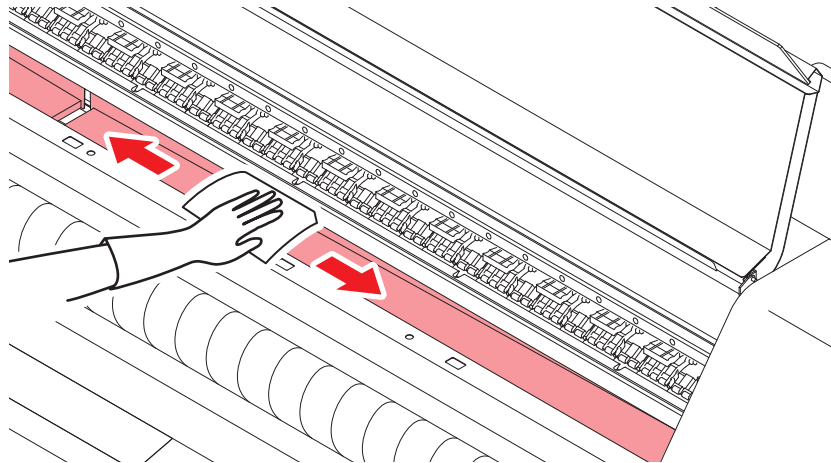


- ・ 汚れが目立つときは、インク受けスパーサーを取り外し、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。



- ・ アセトン、IPAなどの有機溶剤は使用しないでください。本機が故障する原因になります。

インクスロープの清掃



- ・ 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- ・ 水を直接インクスロープに流さないでください。



- ・ 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。



- ・ アセトン、IPAなどの有機溶剤は使用しないでください。本機が故障する原因になります。

インク排出経路の洗浄

キャップ下のインク排出経路のインク詰まりを防止するため、定期的にインク排路の洗浄をしてください。

1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ メンテナンスメニューが表示されます。

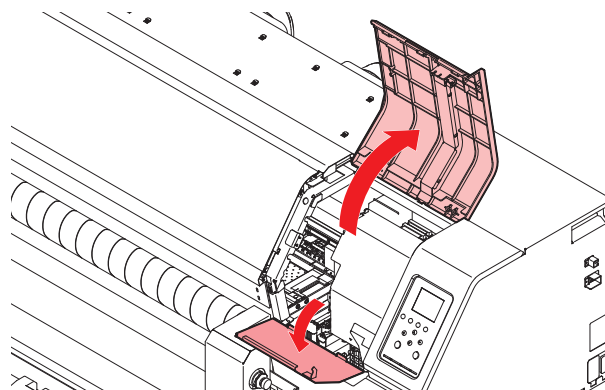
2 [ステーションメンテ] > [ポンプチューブ洗浄]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ キャップにメンテナンス液が満たされます。



- ・ カバーを閉じてください。カバーが開いたままだと、メンテナンス液を満たすことができません。また、メンテナンス液カートリッジの残量がない場合は、メンテナンス液を満たすことができません。

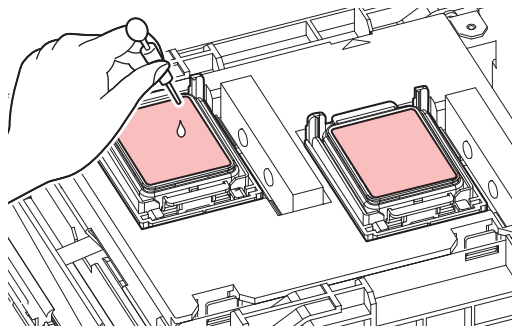
3 右側のメンテナンスカバーを開く。



- ・ キャップの半分程度メンテナンス液が溜まっていることを確認する。



- メンテナンス液が確認できない場合は、スポイトにメンテナンス液をとって、キャップの半分程度メンテナンス液を滴下してください。



- キャップの半分程度メンテナンス液が入っているかどうかを確認する。



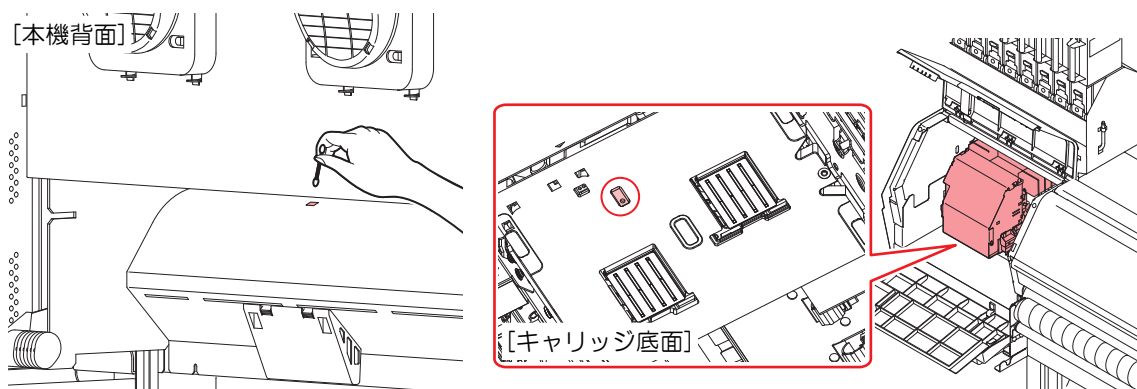
- メンテナンス液が確認できない場合は、スポイトにメンテナンス液をとって、キャップの半分程度までメンテナンス液を満たしてください。

4 メンテナンスカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

- ポンプチューブ（キャップ下のインク排出経路）の洗浄を開始します。

メディアセンサーの清掃

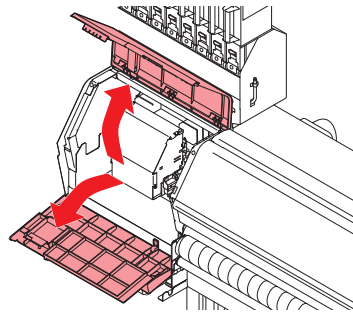
背面側のブリカバー（2箇所）とキャリッジ底面に、メディアセンサーが付いています。センサーにホコリやゴミがたまると、メディアの誤検出の原因になります。綿棒や柔らかい布で取り除いてください。



● キャリッジ底面のセンサーを清掃するときは

- ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - キャリッジがメンテナンススペースに移動します。

3 左側のメンテナンスカバーを開く。

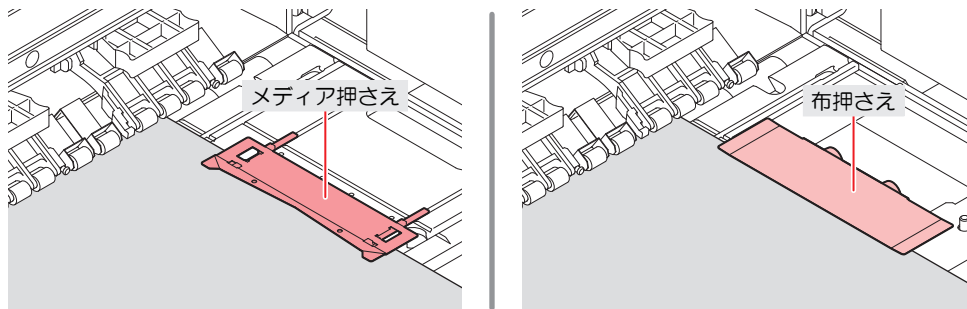


4 メディアセンサーを清掃する。

5 清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

メディア押さえ、布押さえの清掃

汚れたまま使い続けると、メディアが正しくフィードできなくなります。また、固まったインクや付着したホコリがヘッドノズル面をこすり付け、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- ・ 主電源を切って電源ケーブルを抜いてからメンテナンスをしてください。



- ・ 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



- ・ 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

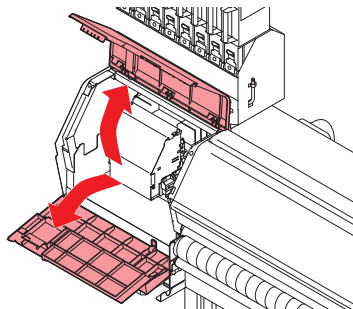


- ・ アセトン、IPAなどの有機溶剤は使用しないでください。本機が故障する原因になります。

ジャムセンサー検出板の清掃

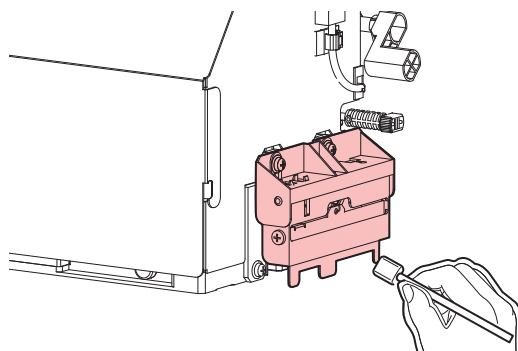
汚れたまま使い続けると、固まったインクや付着したホコリがメディアをこすり付けて、成果物を汚してしまう原因になります。

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ キャリッジがメンテナンススペースに移動します。
- 3 左側のメンテナンスカバーを開く。



- 4 ジャムセンサー検出板を清掃する。

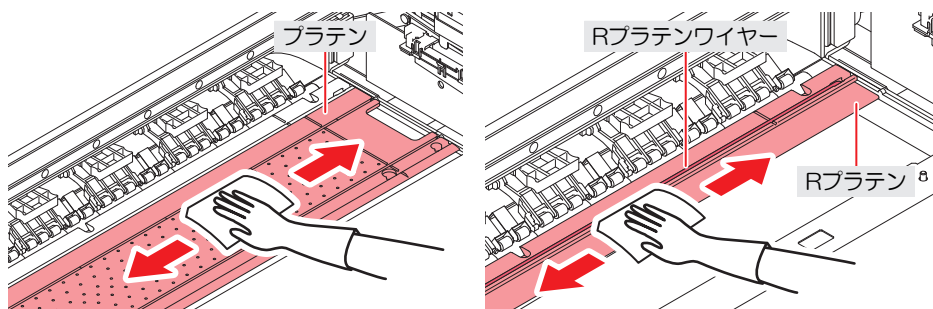
- ・ キャリッジ左右のジャムセンサー検出板の下部を清掃します。
- ・ メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



- 5 清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

プラテン、プラテンワイヤーの清掃

汚れたまま使い続けると、メディアが正しくフィードできなくなります。また、固まったインクや付着したホコリがヘッドノズル面をこすり付け、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。





- ・ 主電源を切って電源ケーブルを抜いてからメンテナンスをしてください。



- ・ 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- ・ 水を直接プラテンに流さないでください。



- ・ メディア押さえをスライドする溝やメディアを裁断する溝は、ゴミがたまりやすい場所です。丁寧にゴミを取り除いてください。



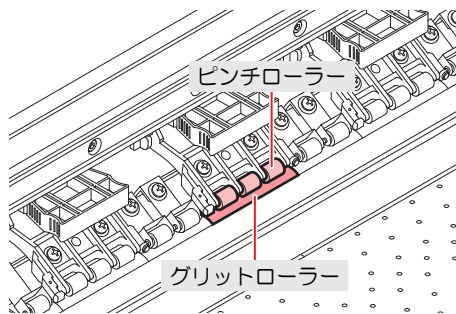
- ・ 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。



- ・ アセトン、IPAなどの有機溶剤は使用しないでください。本機が故障する原因になります。

ピンチローラー、グリットローラーの清掃

汚れたまま使い続けると、メディアが正しくフィードできなくなります。また、固まったインクや付着したホコリがヘッドノズル面をこすり付け、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- ・ 主電源を切って電源ケーブルを抜いてからメンテナンスをしてください。



- ・ 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



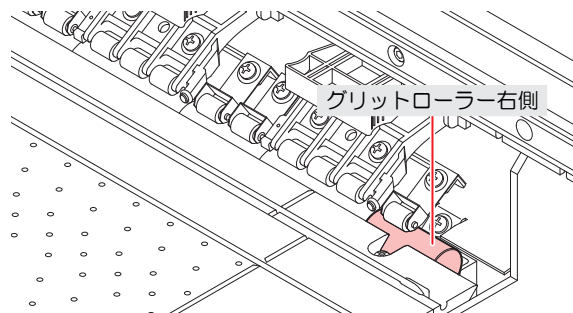
- ・ アセトン、IPAなどの有機溶剤は使用しないでください。本機が故障する原因になります。

● グリットローラーの場合

- 1 正面カバーを開く。
- 2 クランプレバーを上げる。

3 樹脂ブラシを使ってグリットローラーの表面を軽く数回こすり、汚れを除去する。

- 指でグリットローラーの右側を回しながら全周をブラッシングしてください。



- 汚れたブラシ先端は、乾いた布で拭き取ってください。
- 汚れが落ちにくい場合はブラシに水をつけてください。

- 重要!**
- グリットローラー清掃は、必ず樹脂ブラシで行ってください。布や紙などで拭くと凹凸部に繊維クズが付着してしまいます。また、硬い金属ブラシ等を使用すると、グリットローラーに傷を付けてしまい、正しくフィードできなくなります。
 - 水を使ってブラッシングした後は、不要なメディアをフィードさせて水気を取ってください。

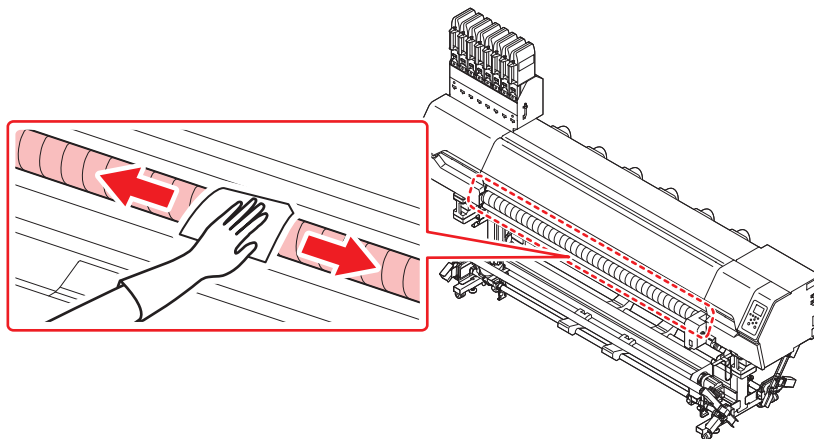
● ピンチローラーの場合

ピンチローラーの表面を布などで拭いて、インク汚れを除去する。



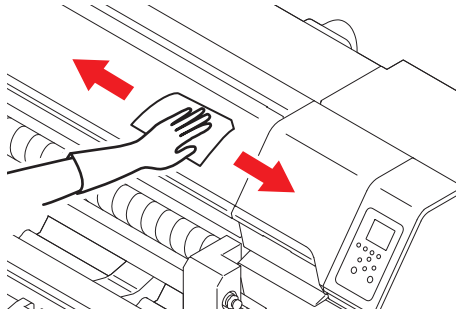
- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

引っ張りローラーの清掃



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

カバー（外装）の清掃



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

長期間使用しないときは

1週間以上使用しないときは、以下の内容にしたがって清掃してください。

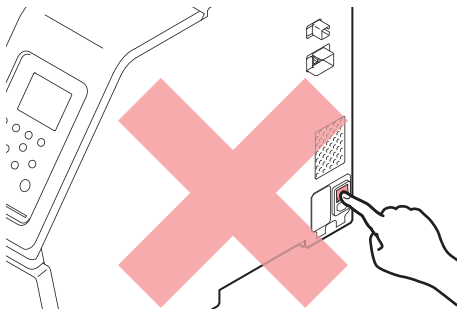
事前に確認してください

[ニアエンド]、[インクエンド] は表示していませんか？

- ・ 洗浄動作の際に、メンテナンス液やインクを吸引します。このとき、エラーが発生していると洗浄ができません。新しいインクに交換してください。



- ・ 主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- ・ プラテン上にメディアをセットしたまま放置しないでください。メディアが波打つ原因になります。



本機を使用しないときは、クランプレバーを上げてピンチローラーとグリットローラーを離してください。

- ・ ピンチローラーを下げたまま放置すると、ピンチローラーが変形して、メディアを正常にフィードできなくなるおそれがあります
- ・ メディアをセットしたまま放置すると、メディアがピンチローラーに押しつぶされて、ピンチローラー跡が残る原因になります。



- ・ ディスプレイに” 廃インクタンク確認 ”が表示されたら、本機の左右に設置した廃インクタンクのインクを捨ててください。

☞ 「[廃インクタンクの交換](#)」 (P. 40)

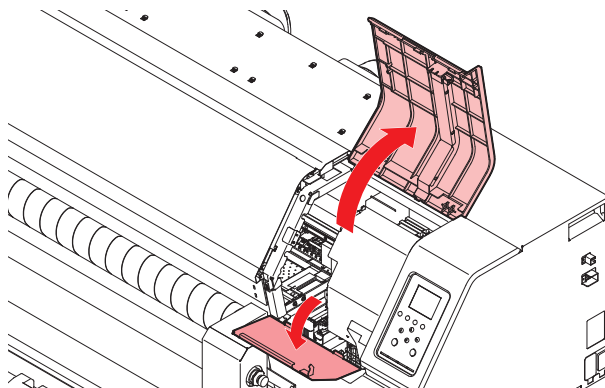
1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [保管洗浄]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ キャリッジがプラテン上に移動します。

3 右側のメンテナンスカバーを開く。



4 キャップゴムを清掃する。

- ・ ☞ 「[キャップゴムの清掃](#)」 (P. 8)

5 清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

- ・ キャップにメンテナンス液が満たされます。



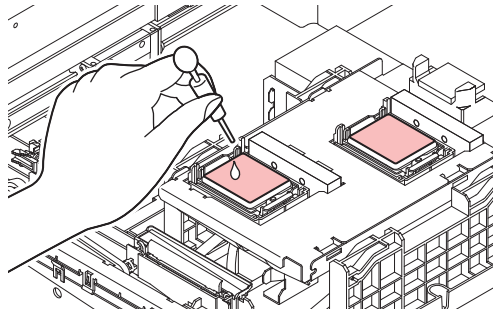
- ・ カバーを閉じてください。カバーが開いたままでは、メンテナンス液を満たすことができません。また、メンテナンス液カートリッジの残量がない場合は、メンテナンス液を満たすことができません。

6 右側のメンテナンスカバーを開く。

- ・ キャップいっぱいメンテナンス液が満たされているかどうかを確認する。



- ・ メンテナンス液が満たされていない場合は、スポイトにメンテナンス液をとって、キャップからあふれる寸前までメンテナンス液を満たしてください。

**7** メンテナンスカバーを閉じる。**8** 放置時間を設定して、[ENTER]キーを押す。

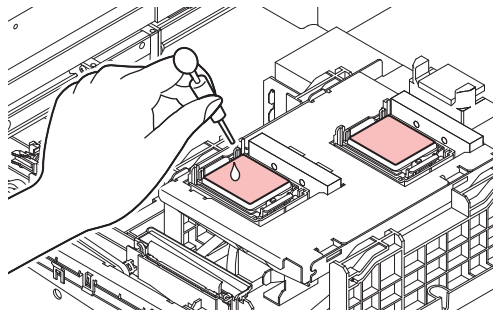
- ・ プリントノズルの洗浄が終了すると、自動的にクリーニングを実行します。
- ・ キャップにメンテナンス液が満たされます。

9 右側のメンテナンスカバーを開く。

- ・ キャップの半分程度メンテナンス液が満たされているかどうかを確認する。



- ・ メンテナンス液が確認できない場合は、スポイトにメンテナンス液をとって、キャップの半分程度までメンテナンス液を満たしてください。

**10** メンテナンスカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

- ・ ポンプチューブ（キャップ下のインク排出経路）の洗浄を開始します。

3. 消耗品の交換

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。消耗品は、弊社ウェブサイト (<https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html>) にてご覧になれます。



- ・ 消耗品を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。



- ・ 消耗品を廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

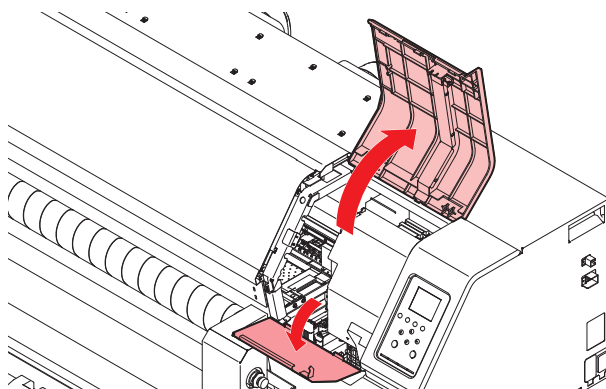
消耗品を交換するタイミング

タイミング	項目
汚れていたら	「ステーション周辺の吸収材の交換」 (P. 29) 「ワイパーの交換」 (P. 25) 「排気ファンフィルターの交換」 (P. 32) 「吹き付けファンフィルターの交換」 (P. 32)
吐出不良が直らないとき	「キャップの交換」 (P. 28) 「ワイパーの交換」 (P. 25)
破損があるとき	「ワイパーの交換」 (P. 25) 「キャップの交換」 (P. 28) 「ピンチローラーの交換」 (P. 33) 「メディア押さえ、布押さえの交換」 (P. 35)
インクを交換するとき	「インク供給ユニットのインク吸収材の交換」 (P. 39)
ディスプレイに“ワイパーの交換”が表示されたら	「ワイパーの交換」 (P. 25)
ディスプレイに“廃インクタンク確認”が表示されたら	「廃インクタンクの交換」 (P. 40)
1年に1度	「ワイパークリーナーの交換」 (P. 26)

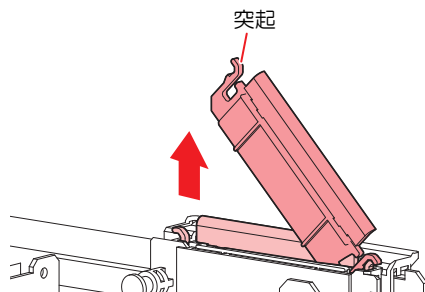
ワイパーの交換

本機はワイピング回数をカウントしています。規定値になるとディスプレイに“ワイパー交換”が表示されます。ワイパーの汚れや反りが激しいときは、新しいワイパーに交換してください。

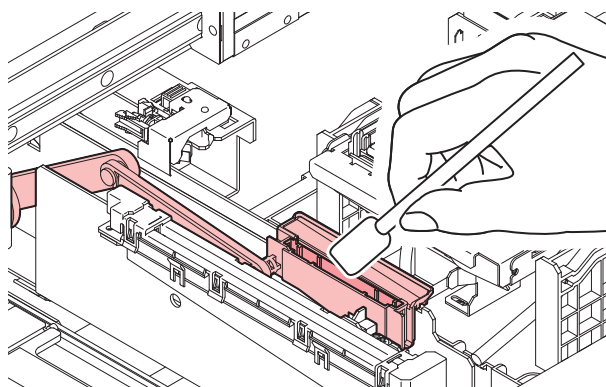
- 1 ディスプレイに“ワイパー交換”が表示される。
- 2 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 3 [ステーションメンテ] > [ワイパー交換]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ キャリッジがプラテン上に移動します。
- 4 右側のメンテナンスカバーを開く。



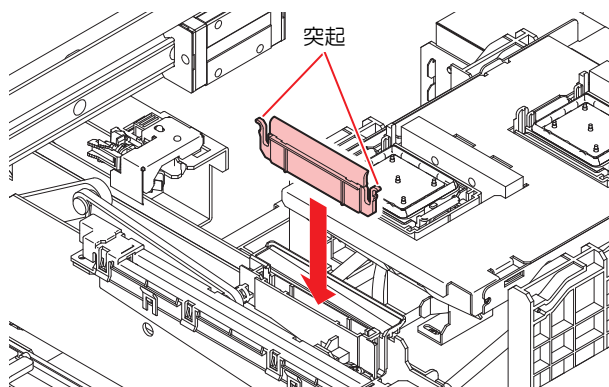
- 5 ワイパーを外す。
 - ・ ワイパーブラケット後方の突起を持って引き抜きます。



- 6 ワイパー-sliderを清掃する。
 - ・ メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



7 新しいワイパーをセットする。



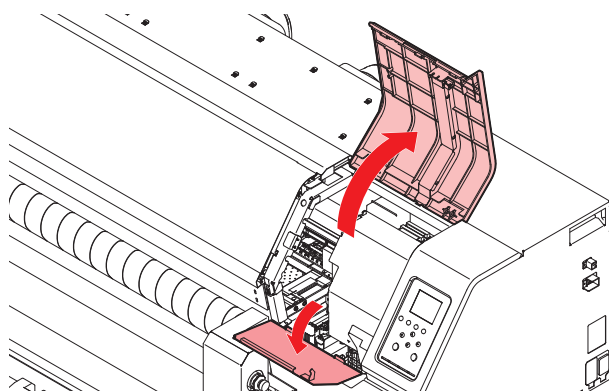
8 交換が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

- ・ ワイパーの使用回数が初期化されます。

ワイパークリーナーの交換

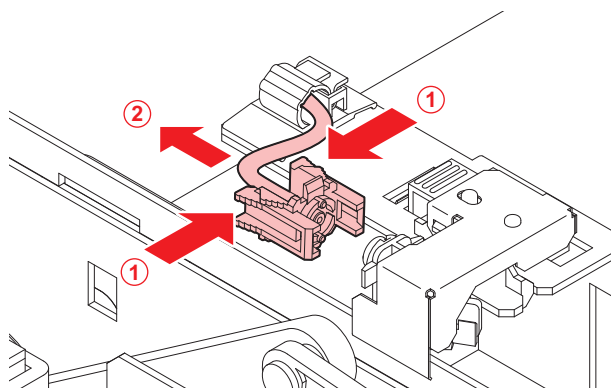
1年に一度、新しいワイパークリーナー（SPC-0243）に交換してください。

- 1** ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 2** [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ キャリッジがプラテン上に移動します。
- 3** 右側のメンテナンスカバーを開く。

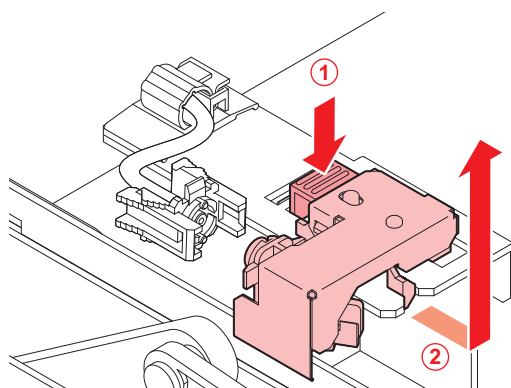


4 フィッティングを外す。

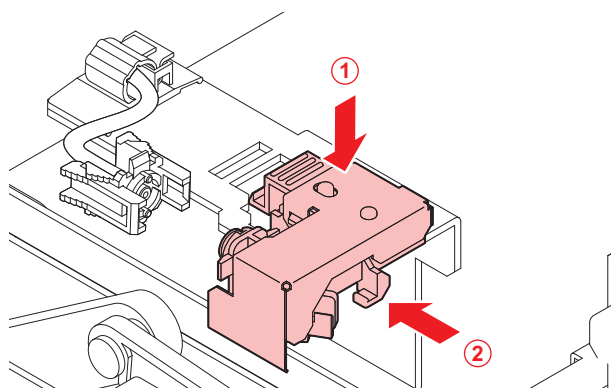
- ・ フィッティングの突起を持って、引き抜きます。
- ・ シールゴムの紛失に注意してください。

**5** ワイパークリーナーを外す。

- ・ 手前に引いて外します。

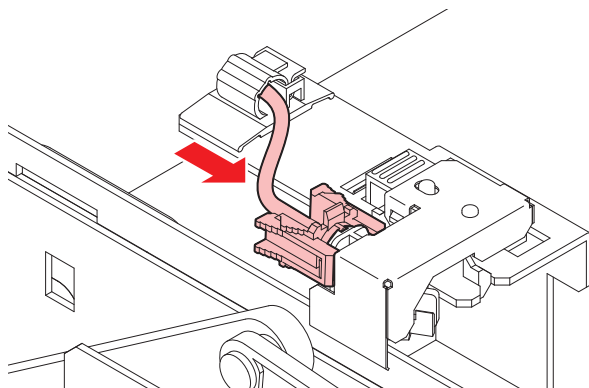
**6** 新しいワイパクリーナーをセットする。

- ・ 奥にスライドさせて取り付けます。



7 フィッティングを付ける。

- ・ 正しく装着していないと、メンテナンス液が漏れるおそれがあります。



8 交換が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

キャップの交換

クリーニングしても吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らない場合は、新しいキャップに交換してください。



- ・ キャップのフチに傷などの破損がみられる場合は必ず交換してください。



- ・ Sbインク、TPインクをご使用の場合、長期間使用するとキャップ表面が乾燥し経路が詰まりやすくなります。その場合はキャップを交換するか外して丸洗いしてください。



- ・ 6か月 ~ 12か月ごとにキャップの交換をお勧めします。
（TPインク：6か月、その他インク：12か月を推奨）

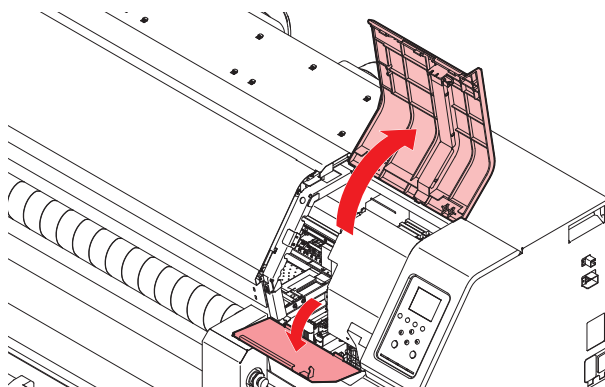
1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [キャップ交換]を選択して、[ENTER]キーを押す。

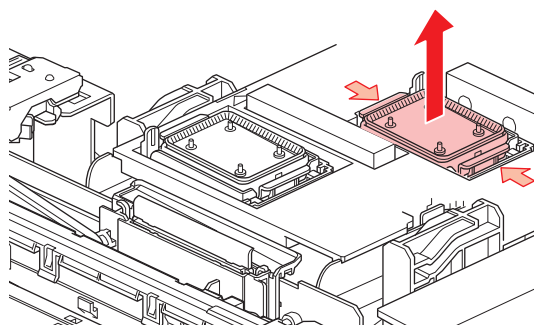
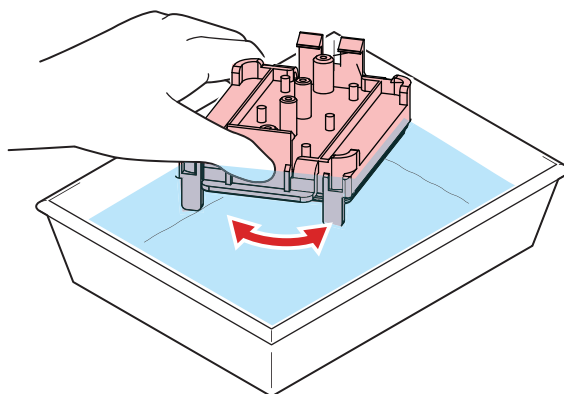
- ・ キャリッジがプラテン上に移動します。

3 右側のメンテナンスカバーを開く。



4 キャップを外す。

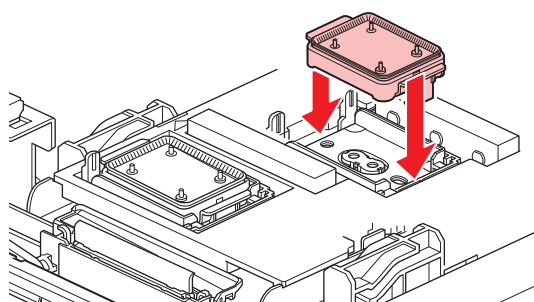
- ・ キャップ両端の突起を押し込みながら、引き抜きます。

**5** 【Sbインク、TPインクの場合】メンテナンス液を溜めた容器でキャップのメッシュの面を下にしてゆすいでください。取り出したら樹脂部分はしっかりと拭き取ってください。**6** メンテナンス液を塗布する。

- ・ スポイトにメンテナンス液をとって、手前の穴に1~2滴塗布してください。

7 新しいキャップ、または丸洗いしたキャップをセットする。

- ・ 切り欠きを手前にして、カチッと音がするまではめ込みます。

**8** 交換が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。**ステーション周辺の吸収材の交換**

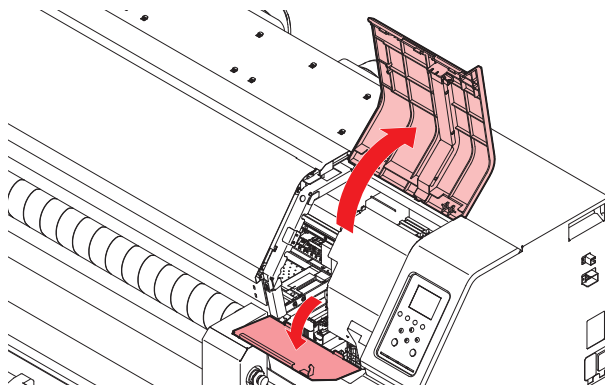
キャップ吸収材やメンテナンス液吸収材の汚れが激しいときや、メディアにポタ落ちなどがみられる場合は、新しいキャップ吸収材に交換してください。

1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ メンテナンスメニューが表示されます。

- 2** [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。
- ・ キャリッジがプラテン上に移動します。

- 3** 右側のメンテナンスカバーを開く。



- 4** キャップ吸収材を外す。



- ・ キャップ吸収材を外したときに、インクが垂れないように注意してください。

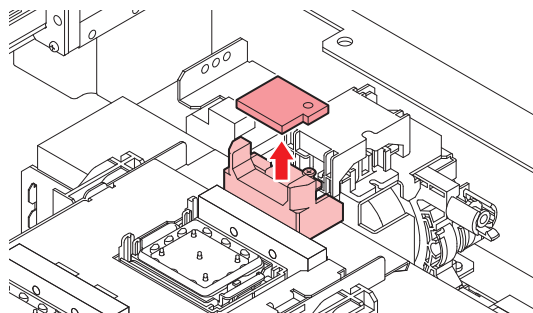
- 5** 新しいキャップ吸収材をセットする。

- ・ キャップ吸収材のスリットにプレートのツメを挿し込んでください。



- ・ キャップ吸収材が、外れないことを確認してください。

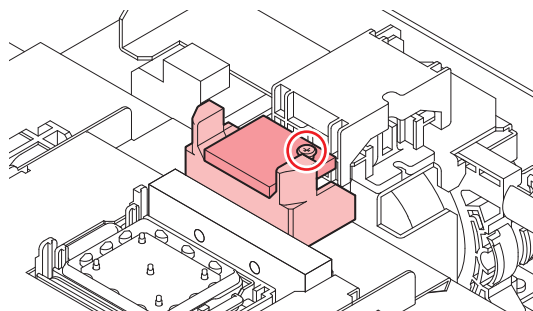
- 6** メンテナンス液吸収材を外す。



- 7** スライダーブロック周辺のメンテナンス液を拭き取る。

- 8** 新しいメンテナンス液吸収材をセットする。

- ・ 突起にしっかり挿し込んでください。



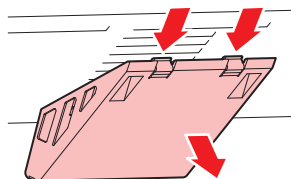
- 9 吸収材が浮いていたり、反っていたりしていないかどうかを確認する。
- 10 交換が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

排気ファンフィルターの交換

排気ファンフィルターの状態を確認して、汚れが激しいときは交換してください。

1 排気ファンBOXを外す。

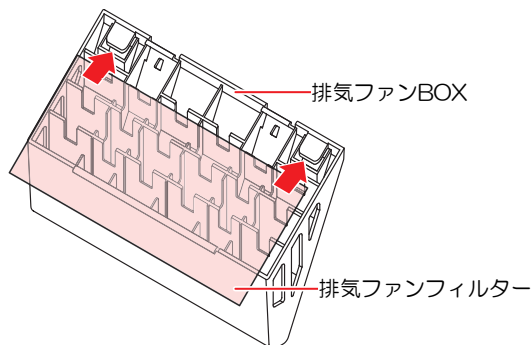
- ・ 手前のツメを押して外します。



- ・ 排気ファンBOXの汚れが激しいときは、新しい排気ファンBOXに交換してください。

2 排気ファンBOXに新しい排気ファンフィルターをセットする。

- ・ 排気ファンBOXのツメのすき間に排気ファンフィルターを挿し込みます。



3 排気ファンBOXをセットする。

- ・ 本機のスリットに排気ファンBOXのツメを挿し込んでから、手前のツメをはめ込んでください。

吹き付けファンフィルターの交換

吹き付けファンフィルターが汚れたときは交換してください。



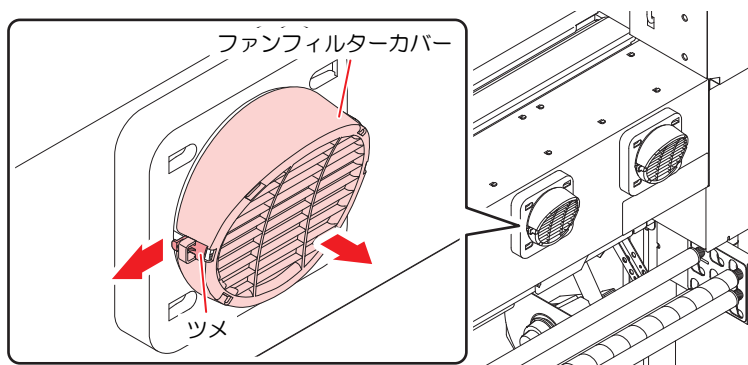
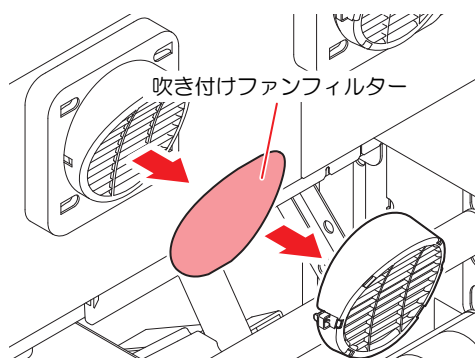
- 昇華転写インクを使用されている場合
 - ・ 3か月に1度は、フィルターを交換してください。



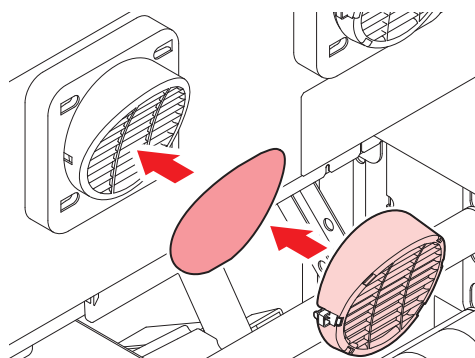
- ・ 主電源を切って電源ケーブルを抜いてから交換してください。

1 ファンフィルターカバーを外す。

- ・ ファンフィルターカバーのツメを外側に押して、カバーを手前に引っぱります。

**2** フィルターを外す。**3** 新しいフィルターとファンフィルターカバーをセットする。

- ・ ファンフィルターカバーは、ツメがカチッと音がするまではめ込みます。

**ピンチローラーの交換**

ピンチローラーに摩耗や汚れがみられる場合は、新しいピンチローラーに交換してください。

重要! 昇華転写インクを使用されている場合

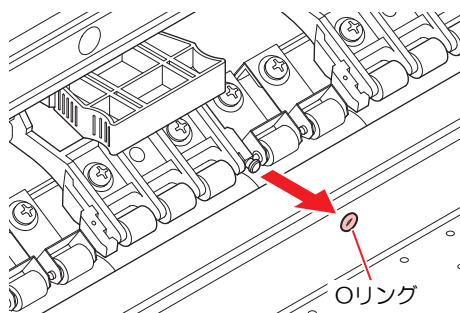
- ・ 1日あたり12時間稼働しているとき：1か月に1回、交換してください。
- ・ 24時間稼働しているとき：2週間に1回、交換してください。



- ・ 主電源を切って電源ケーブルを抜いてから交換してください。

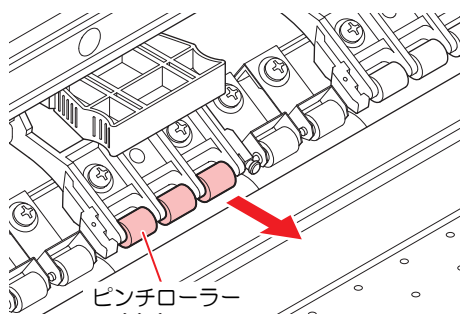
1 正面カバーを開く。**2** クランプレバーを上げる。

3 ピンチローラを固定しているOリングを外す。



・ 部品が小さいので、すき間に落下させないように注意してください。

4 ピンチローラー、もしくはPR軸を外す。

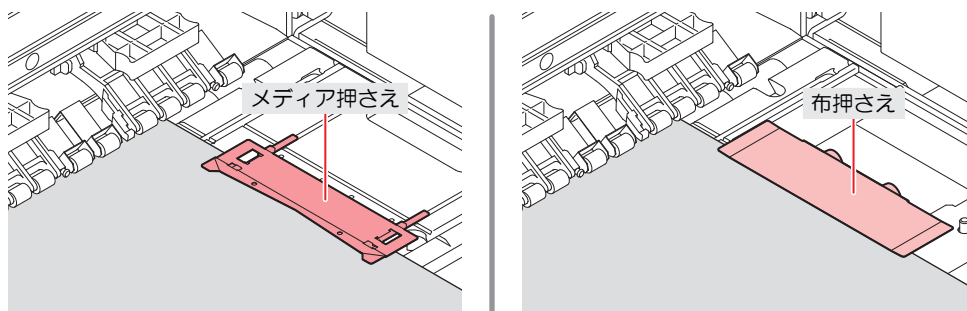


5 新しいピンチローラーをセットして、Oリングで固定する。

6 正面カバーを閉じる。

メディア押さえ、布押さえの交換

メディア押さえ、布押さえが変形して、キャリッジやプリントヘッドに接触する場合は、新しいメディア押さえ、布押さえに交換してください。

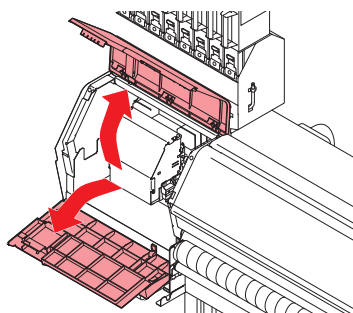


・ 主電源を切って電源ケーブルを抜いてから交換してください。

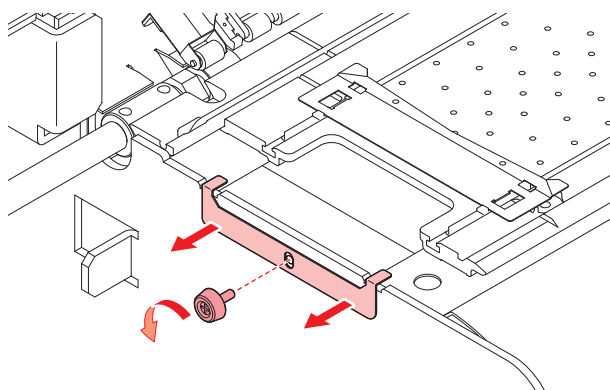
● メディア押さえの場合

左側のメディア押さえの交換方法です。右側も同様の手順で交換してください。

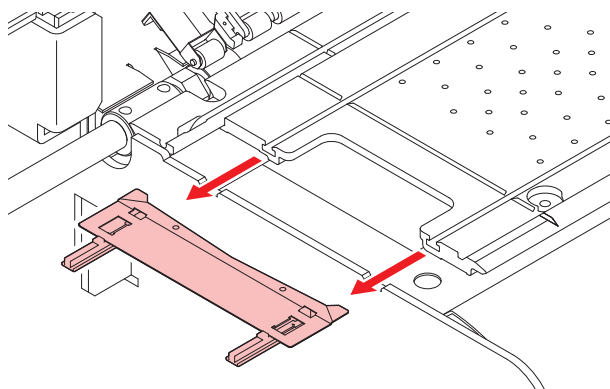
1 左側のメンテナンスカバーを開く。



2 側面のネジを外して、メディア押さえストッパーを外す。

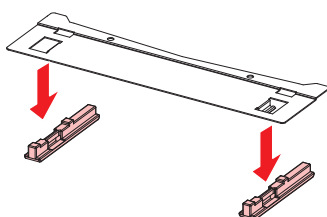


3 メディア押さえを外す。



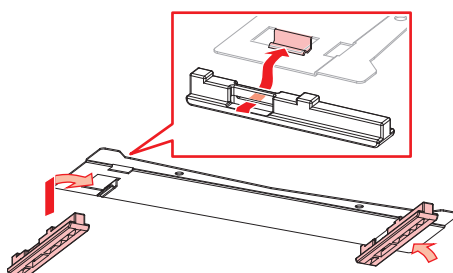
4 メディア押さえから、スライダーを外す。

- ・ 外したスライダーは紛失しないように注意してください。

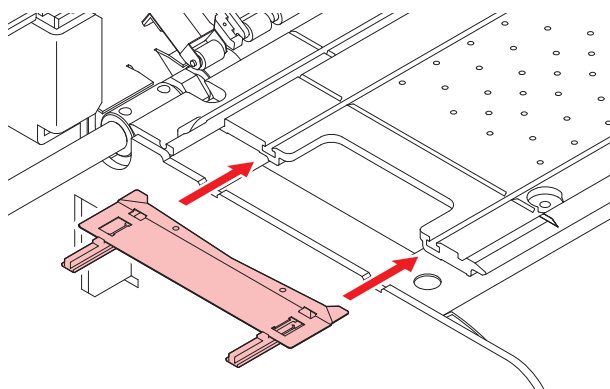


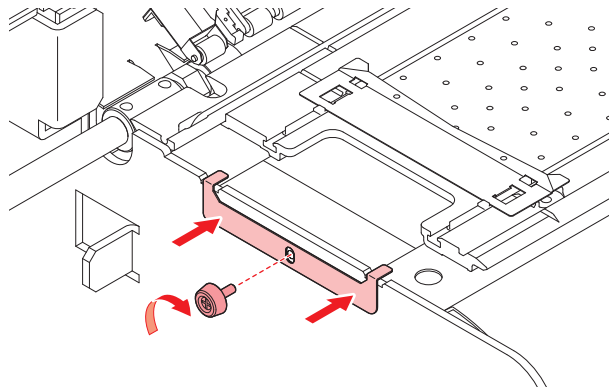
5 新しいメディア押さえに、スライダーをセットする。

- ・ メディア押さえの突起にスライダーの穴を引っ掛けます。



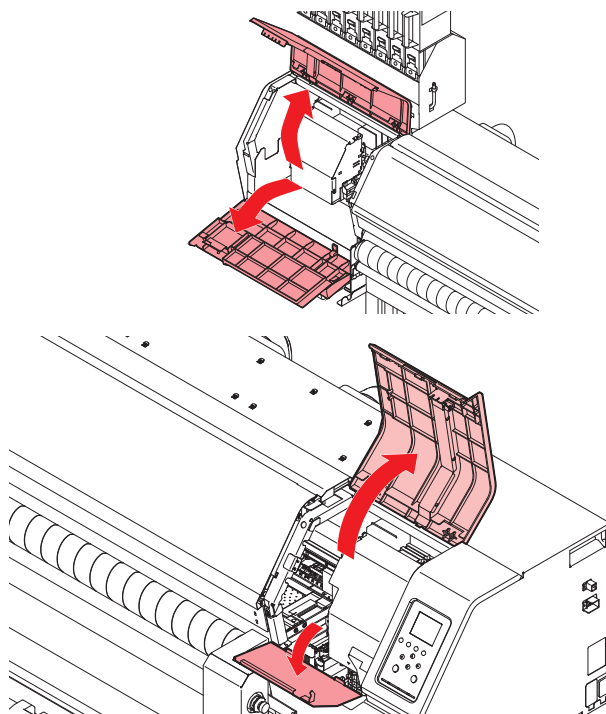
6 プラテンに新しいメディア押さえをセットする。



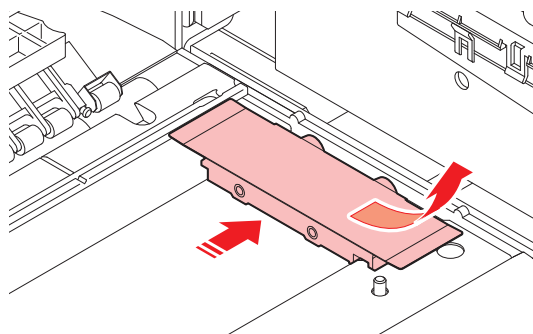
7 メディア押さえストッパーをネジで固定する。**8** メンテナンスカバーを閉じる。

● 布押さえの場合

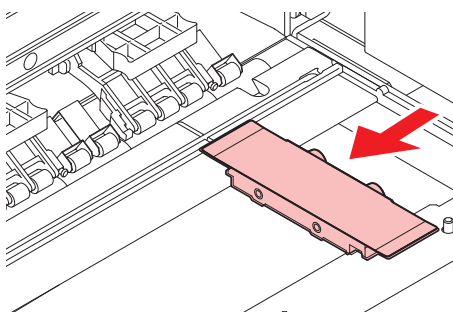
1 左右のメンテナンスカバーを開く。



2 布押さえ（R/L）を取り外す。



3 新しい布押さえ（R/L）をセットする。



・ 布押さえ（R/L）の向きに注意してください。ネジが外側になるように取り付けてください。また、布押さえ前後で形状も異なりますので、注意してください。

4 メンテナンスカバーを閉じる。

インク供給ユニットのインク吸収材の交換

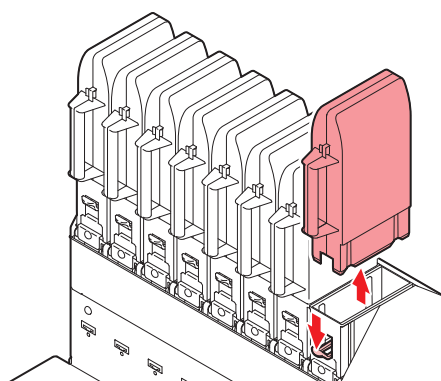
インク供給ユニットの台座の汚れを防止するために、インクパックを交換するたびにインク吸収材の交換をお勧めします。



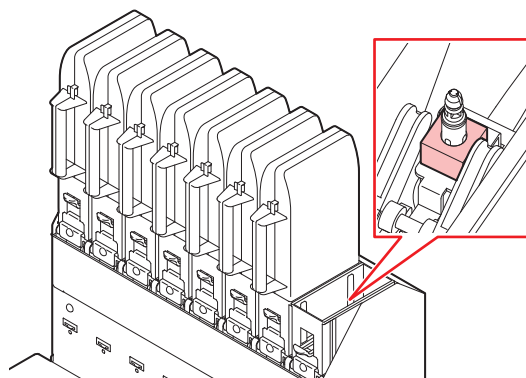
- ・ インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



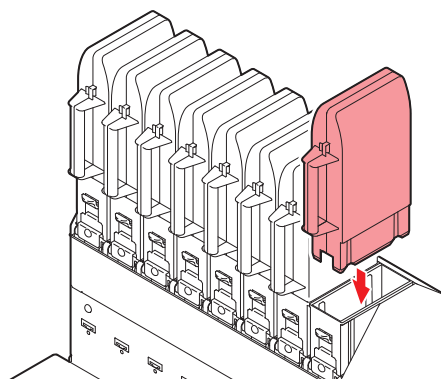
1 台座のレバーを押し下げて、インクエコケースを外す。



2 吸収材を外して、新しい吸収材をセットする。



3 台座にエコケースをセットする。



廃インクタンクの交換

プリントやヘッドクリーニングなどで使用したインクは、本機左右にある廃インクタンクにたまります。



- ・ 2Lタンクの容量が80%（1.6L）が規定値です。
- ・ 廃インクを廃棄せずに使い続けると、廃インクタンクから廃インクがあふれ出るおそれがあります。1週間に1回を目安に、廃インクタンクの液量を目視でご確認頂くことをお勧めいたします。



- ・ インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



メッセージ“廃インクタンク確認”が表示されたら

- 1 ディスプレイに“廃インクタンク確認”が表示される。

廃インクタンク確認
Level: xx %

- 2 廃インクタンクの中の廃インク量を確認する。

- ・ 実際の量と誤差がある場合は、次の手順に進んでください。
- ・ 実際の量と誤差がなく、廃インクタンクを交換（廃棄処分）する場合は、廃インクタンクを交換してください。☞ [「廃インクタンクを交換する」](#)（P. 40）

- 3 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ メンテナンスメニューが表示されます。

- 4 [廃インクタンク]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- 5 [廃インク量補正]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- 6 ▲▼を押して、レベルを調整する。

- 7 調整が終わったら、[ENTER]キーを押す。

廃インクタンクを交換する

● 廃インクタンクの交換手順(本機右下)

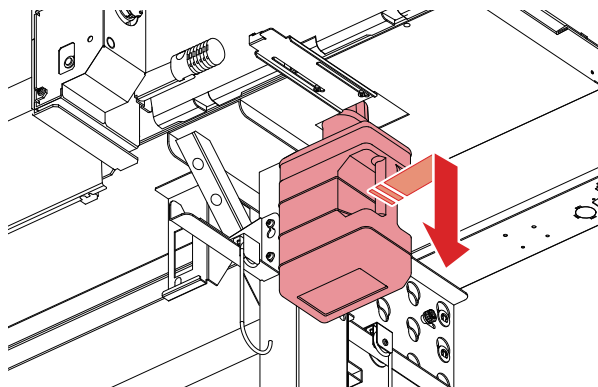
- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ メンテナンスメニューが表示されます。

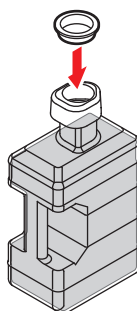
- 2 [廃インクタンク]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- 3 [廃インク量リセット]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- 4** 廃インクタンクの取っ手を持ち、スライドさせて外す。



- 5** 取り外した廃インクタンクにキャップをはめて、テープなどを使用して廃インクが漏れないように処理する。



- ・ インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体、インクなどが付着した容器や不織布などを廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

お手入れのお願い

2025年4月

発行者 株式会社ミマキエンジニアリング
発行所 株式会社ミマキエンジニアリング
〒389-0512
長野県東御市滋野乙2182-3

